

## 大阪府指定出資法人評価等審議会（第16回）

- と き 令和元年8月7日（水曜日）14：30～17：20
- と ころ 国民會館住友生命ビル 12階 武藤記念ホール小ホール
- 出席者 上林 憲雄（神戸大学経営学域長・大学院経営学研究科長・経営学部長・教授）  
久保 明代（株式会社プロスパー・コーポレーション 代表取締役会長）  
坂本 守孝（坂本会計事務所 公認会計士）  
砂留 洋子（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 シニアコンサルタント）  
八木 正雄（かけはし総合法律事務所 弁護士）  
山本 彰子（山本彰子中小企業診断士事務所 中小企業診断士）
- 議 題 平成30年度の経営評価結果について
  - （1）大阪高速鉄道（株）
  - （2）大阪外環状鉄道（株）
  - （3）（一財）大阪府みどり公社
  - （4）（公財）大阪府漁業振興基金
  - （5）（公財）大阪国際平和センター
  - （6）（株）大阪国際会議場
  - （7）（公財）大阪府国際交流財団

### 平成30年度の経営評価結果について

#### （1）大阪高速鉄道（株）

##### 事務局より、平成30年度の経営評価結果及び指導・助言について説明

委員：「設備投資額」の未達成について、仕様変更に伴い投資額が少額になったことが要因か。

部局：金額が少額になったわけではなく、仕様変更等に伴う工期変更により今年度に繰り越したことが要因である。

委員：設備投資を繰り越しているとのことだが、安全面では問題がないのか。

部局：安全を最優先に計画を立てている。

委員：資料1の8頁〔8.府の審査・評価結果〕の評価の1点目について、地震により運行休止となったことで利用者に対し影響を及ぼしたにも関わらず、「安全・安定輸送の確保に努める法人の努力が認められる」と評価するのはいかがなものか。修正されたい。

事務局：承知した。

委員：資料1の9頁〔10.経営目標設定の考え方〕に、113億円（H28年度実績）から110億円（R3年度目標）と売上高の目標が記載されているが、目標はマイナス傾向なのか。一方、7頁〔7.評価結果〕には、『沿線人口の増加、太陽の塔の内部公開、大阪国際空港のリニューアルなどによる増客効果』により、売上が増加していると記載がある。これについては、どう理解すればよいのか。

部局：9頁の記載については、中期経営計画策定時における実績値と計画最終年度における目標値を記載している。中期経営計画策定時は、110億円を維持するとしていたが、これまでの実績値を踏まえ今年度は114億円を目指すこととしている。

委員：空港のリニューアルなどは当時盛り込むことができなかったのか。次期中期経営計画を策定

する際は、中期的な視点で盛り込めるものは盛り込んでいただきたい。

## (2) 大阪外環状鉄道(株)

### 事務局より、平成30年度の経営評価結果及び指導・助言について説明

委員：最重点目標「事業進捗率」の算出にあたっては、執行累計額を使用しているが、少しでも進捗があれば実績が必ず前年度を上回り、部分点が付与されるのではないか。

部局：おおさか東線の整備事業について、いかに完遂させるかがミッションの会社である。

委員：部分点の制度はどうなっているのか。

事務局：目標値を前年度実績以上に設定したうえで、実績値が前年度以上であったが目標未達成となった場合に部分点を付与している。また過年度の審議会においても、累積数値による目標設定について、議論をしていただいた。原則として、目標値は単年度目標であるが、例外的に累積数値を目標設定する際は、その目標設定の意味を法人に説明してもらい、審議会で決定するとしている。

当該法人については今年度から指標変更しており問題がないが、来年度の経営評価制度に関わることから、2月以降の審議会にて、例年審議していただいている経営評価の課題において整理させていただく。

委員：財務分析について、現金預金の減少要因として、借入の時期の遅れによるものとしているが、負債の短期・長期とも借入金は増えているので、矛盾しているように見える。修正されたい。

部局：承知した。

## (3) (一財) 大阪府みどり公社

### 事務局より、平成30年度の経営評価結果及び指導・助言について説明

※委員からの質疑等は特になし

## (4) (公財) 大阪府漁業振興基金

### 事務局より、平成30年度の経営評価結果及び指導・助言について説明

※委員からの質疑等は特になし

## (5) (公財) 大阪国際平和センター

### 事務局より、平成30年度の経営評価結果及び指導・助言について説明

委員：資料1の54頁「指導・助言」の1点目について、「即効性のある取組み」と記載があるが、入館者数目標が4年連続で未達成となっている状況を踏まえ、もう少し具体的な取組みを盛り込んだ方がよい。

事務局：承知した。

委員：学校関係以外のターゲットも意識し、大阪城付近を観光で訪れている外国人等の取込みについても記載してはどうか。

事務局：承知した。

## (6) (株) 大阪国際会議場

### 事務局より、平成 30 年度の経営評価結果及び指導・助言について説明

委員：資料 1 の 65 頁「評価」の 1 点目について、大型会議が自然に増加したような印象を受ける。法人の積極的な誘致活動の結果、大型会議の増加や開業以来最高の売上を達成したことがわかるように記載されたい。

事務局：承知した。

委員：「指導・助言」の 2 点目について、資料 2 の 9 ページに記載のとおり、利用者のニーズは既に法人で把握し、改善方策も検討されていることから、実施に向けた表記にすべきではないか。

事務局：今年度の審議会において、満足度向上に繋がる取組みの指標化については来年度に向けて検討する、という法人の回答があったことから、ニーズの把握も継続して行っていくと思われる。「ニーズに対応した効果的な取組みを実施する」という表現ではどうか。

委員：問題ない。

委員：資料 1 の 65 頁〔9.「行政経営の取組み」における方向性〕について、抜本の見直しとなっているが、府としては民営化を考えているということか。

事務局：民営化ということではなく、国際会議場の施設と一体で運営している法人であるため、施設のあり方を検討していく中で方向性が定まっていく、という趣旨で記載している。

## (7) (公財) 大阪府国際交流財団

### 事務局より、平成 30 年度の経営評価結果及び指導・助言について説明

委員：資料 1 の 74 頁「5. 財務状況」の受取寄付金の分析・評価については、特定資産を取り崩したことによる影響だと思われるので、実態に合わせて記載されたい。

事務局：承知した。

### 〔その他〕委員意見（7月24日及び8月1日審議分）を踏まえた府の評価及び指導・助言について

#### 事務局より、資料 3 について説明

※委員からの質疑等は特になし

### 〔その他〕(公財) 大阪産業局の経営目標設定について

#### 事務局より、資料 4 及び 5 について説明

委員：会長預かりとなっていた但し書き部分については、既に目標設定を終了している他法人とのバランスを考慮し、削除すべきと考える。再審議については、資料 4 の各委員の意見にあったように、判断の難しさや、公平性の担保などの課題もあるが、そうした課題を整理した上で再審議は可能かと思う。

また、最重点目標の指標の設定については、法人は、部分点なしで 3 つの指標を最重点に設定することを選択した。3 つの指標をセットとする理由としては、企業支援の成果として優劣がつけ難いため一体的な指標としたいとのことであり、法人の考え方は理解できるものとする。法人からは、チャレンジを後押しする仕組みとして部分点の取扱いを検討して欲しいとの意見

があったが、毎年度、審議会では経営評価制度の課題について色々と検討しているので、その中で話し合うことになるかと思う。

この法人の目標設定については、このような整理でいかがか。

各委員：異議なし。